

令和 4 年度

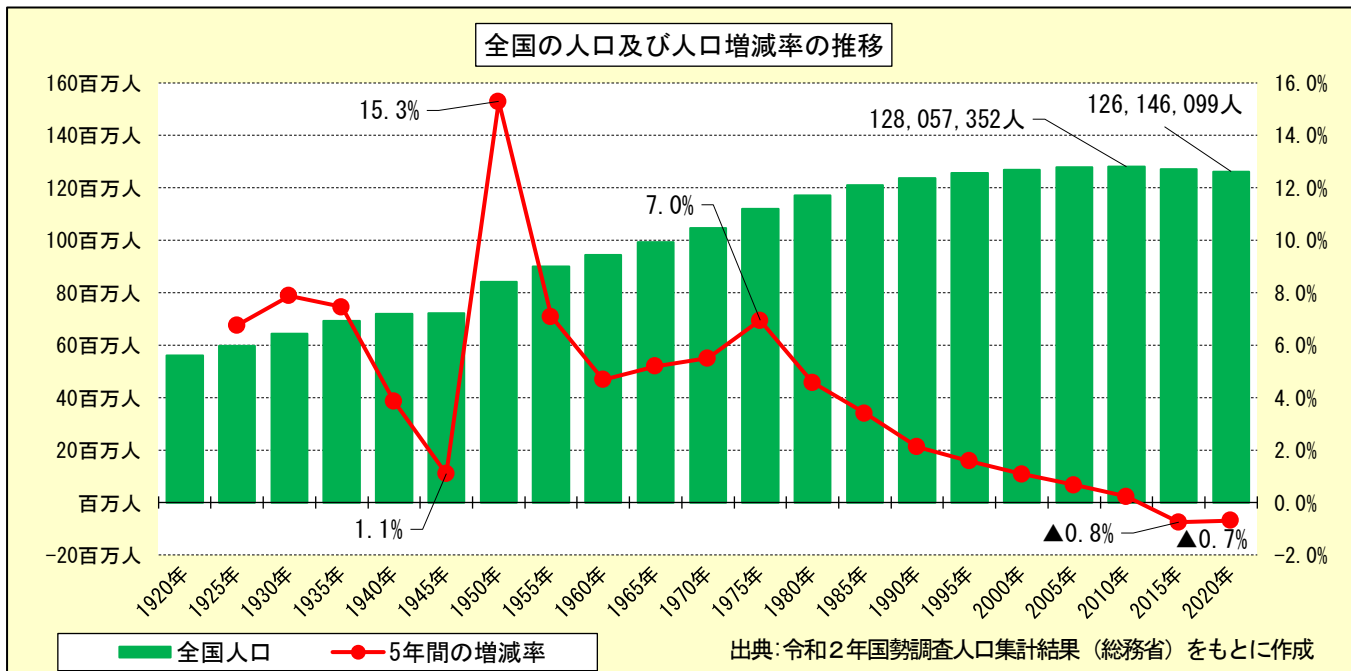
第 1 回四万十市産業振興計画フォローアップ委員会



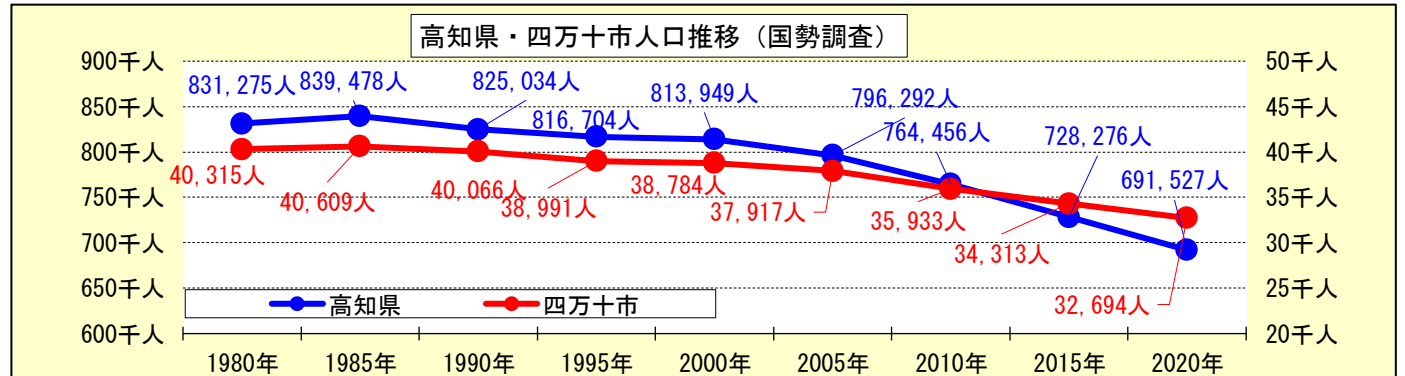
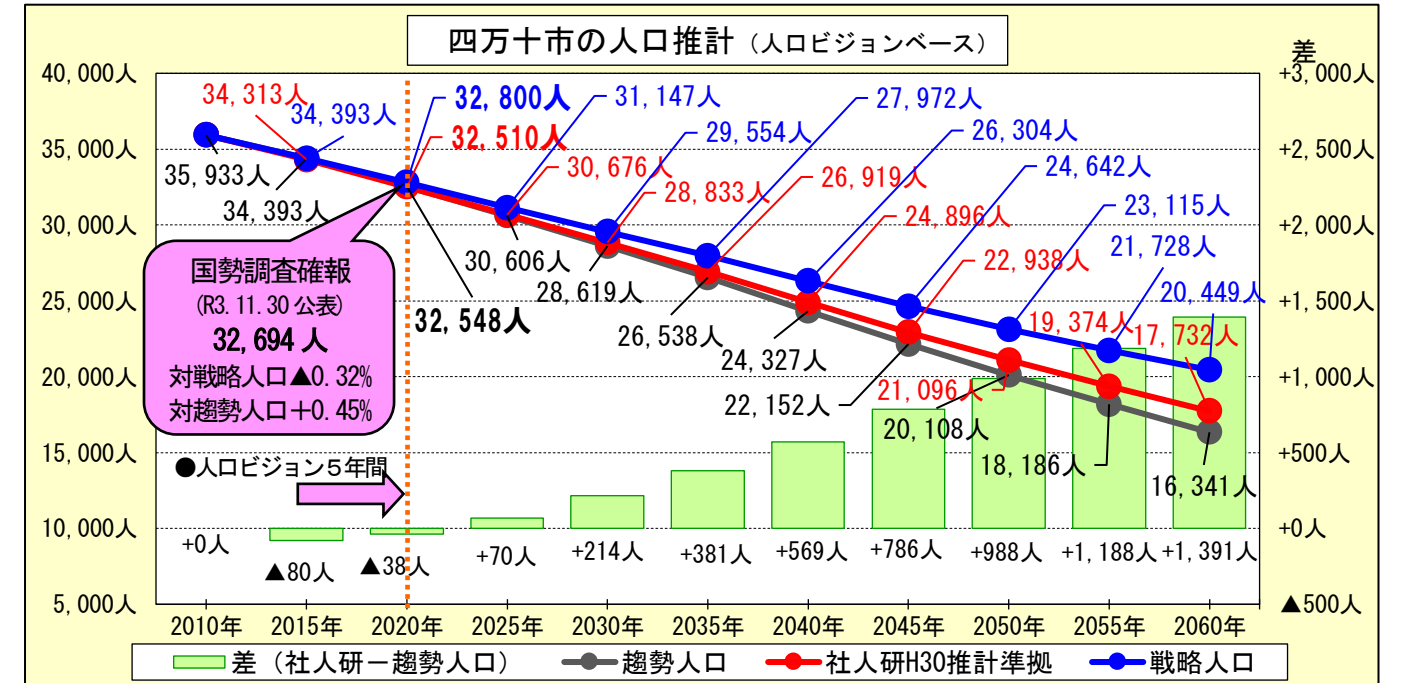
- 1 四万十市の人口状況等
- 2 四万十市の産業状況等
- 3 令和 4 年度上半期の各産業分野の動き

1 四万十市の人口状況等①

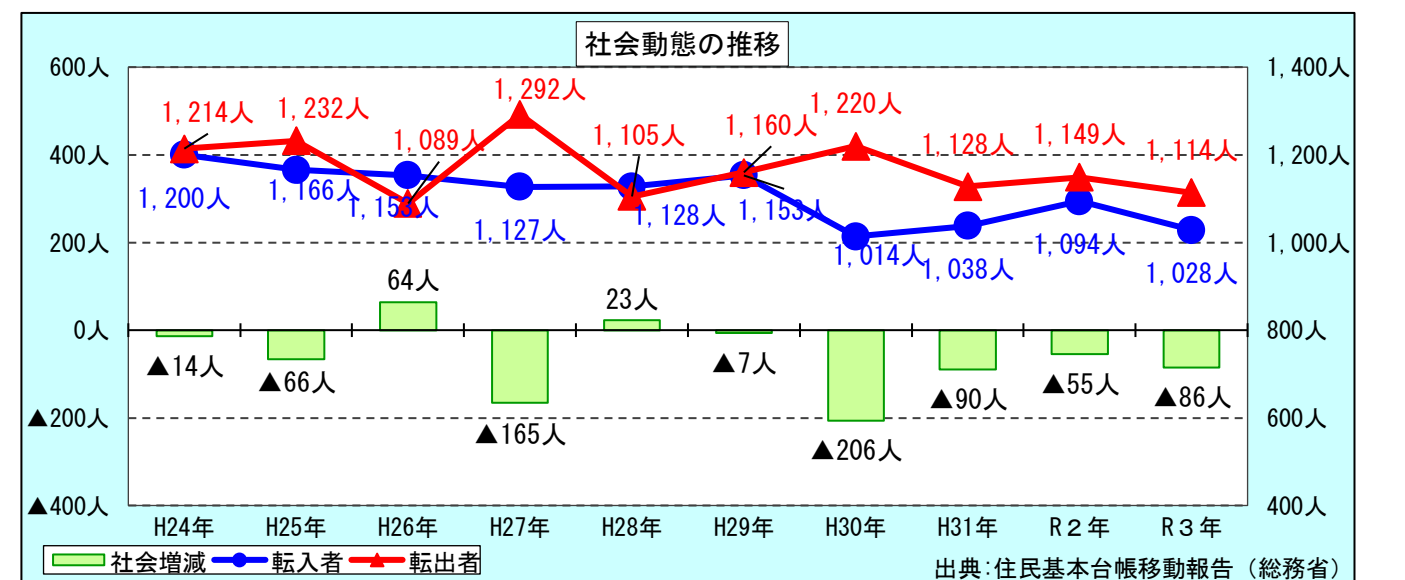
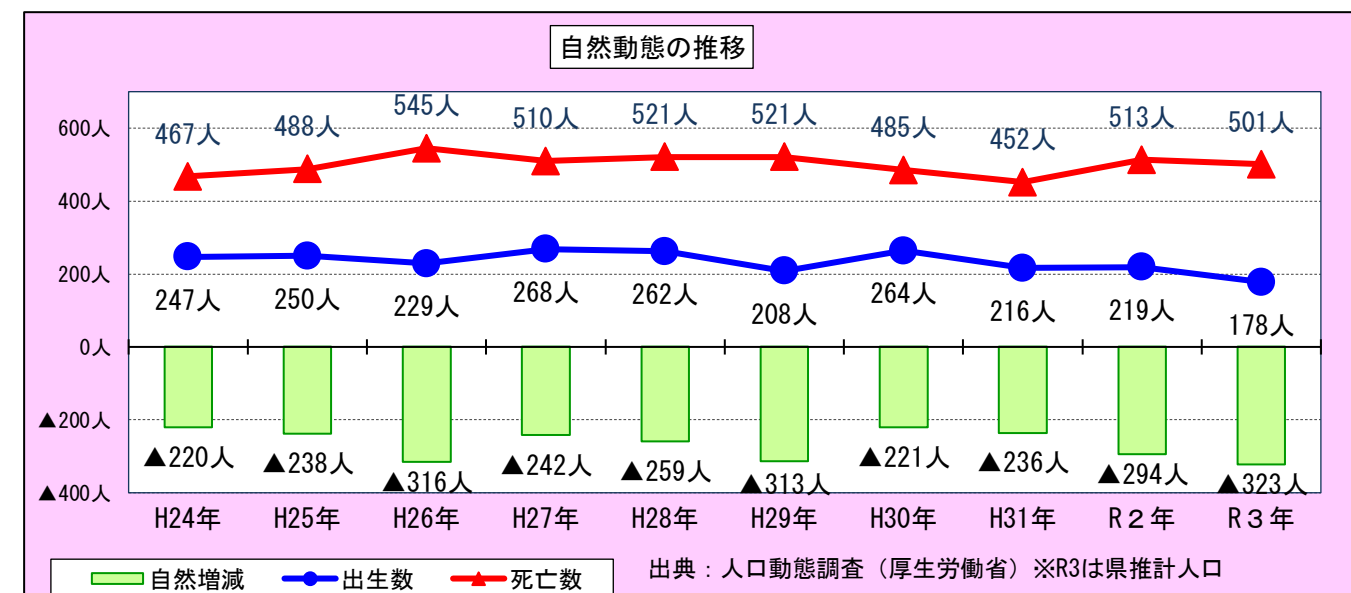
1 国勢調査の結果（確報値）について



- 日本の人口は1億2,614万6千人（R2.10.1現在）
- 2015年と比べると94万9千人の減少（2015年から0.7%減、年平均0.15%減）
- 男女別では、男性が6,135万人、女性が6,479万7千人。女性が344万7千人多く、人口性比は94.7
- 人口上位8都道府県の人口は、6,398万4千人で全国の5割以上。東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）で全人口の約3割（3,691万4千人）を占める。
- 人口増減率は2010～2015年に調査開始後初めてマイナスに転じ、2015～2020年も0.7%減少。
- 全国1,719市町村のうち、1,419市町村（82.5%）で人口減少。5%以上人口が減少した市町村は51.3%と半数を超える。
- 一般世帯数は5,570万5千世帯。一般世帯の1世帯あたり人員は2.21人で2015年に引き続き減少。

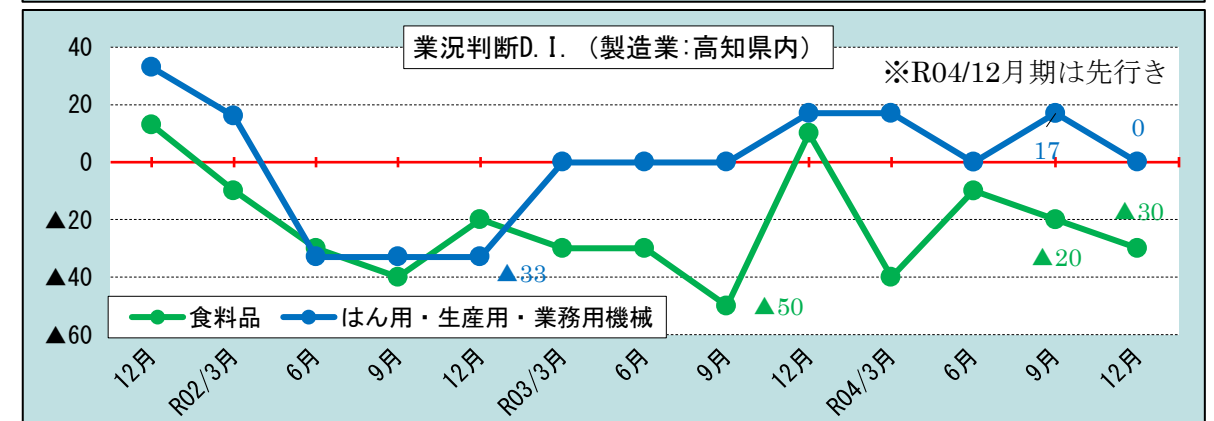
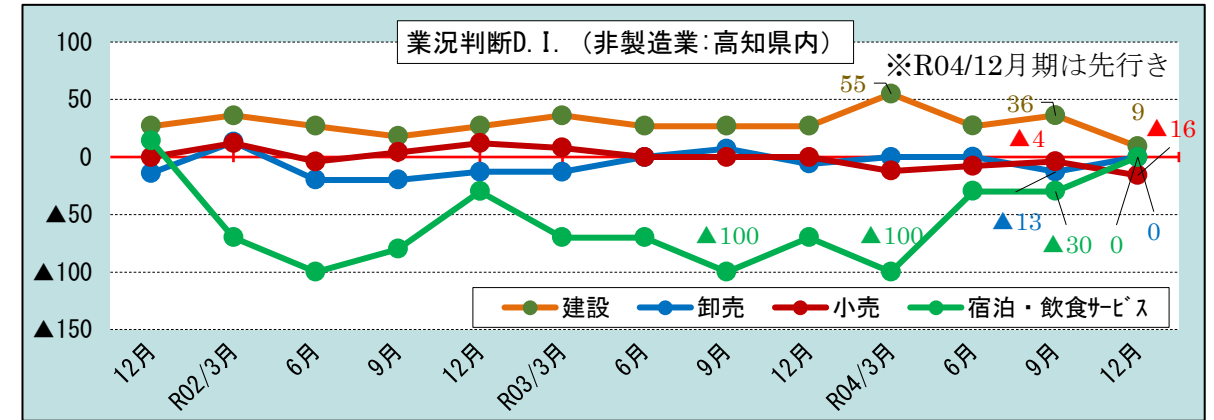
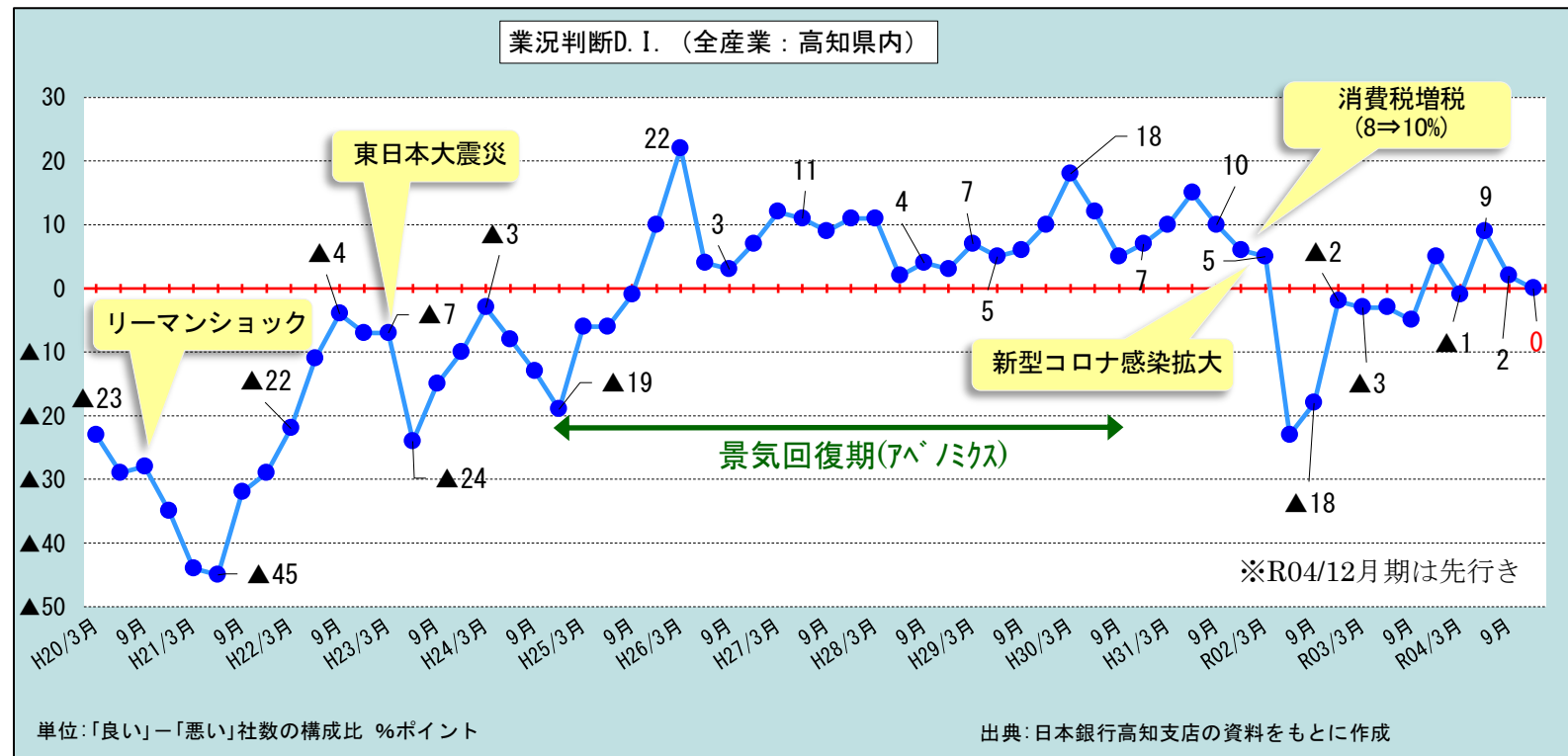


2 四万十市の人口移動等について

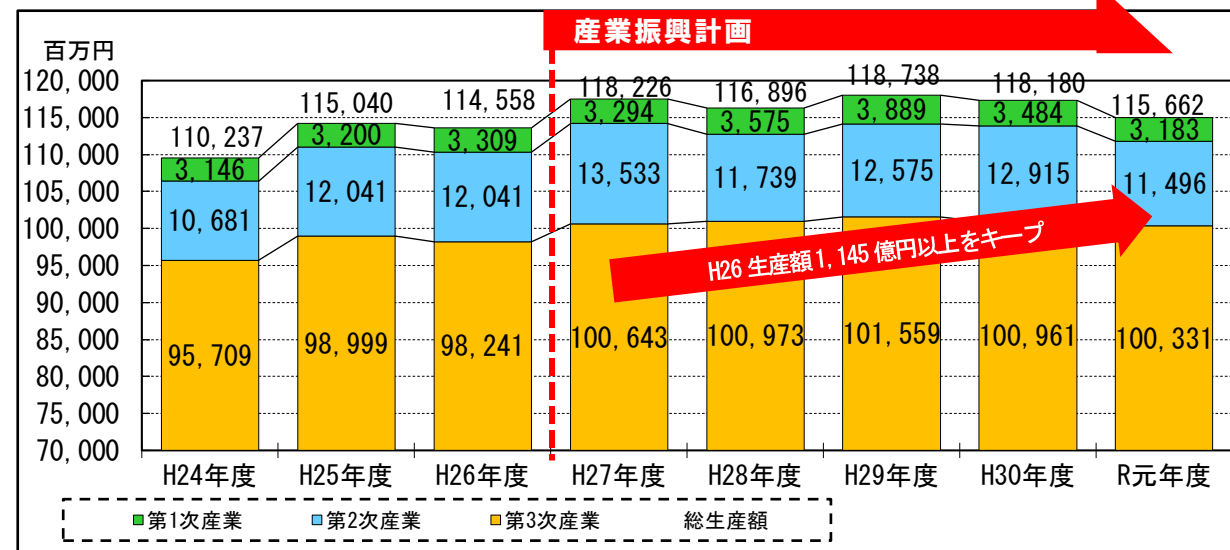


2 四万十市の産業状況等①

1 高知県内の業況判断

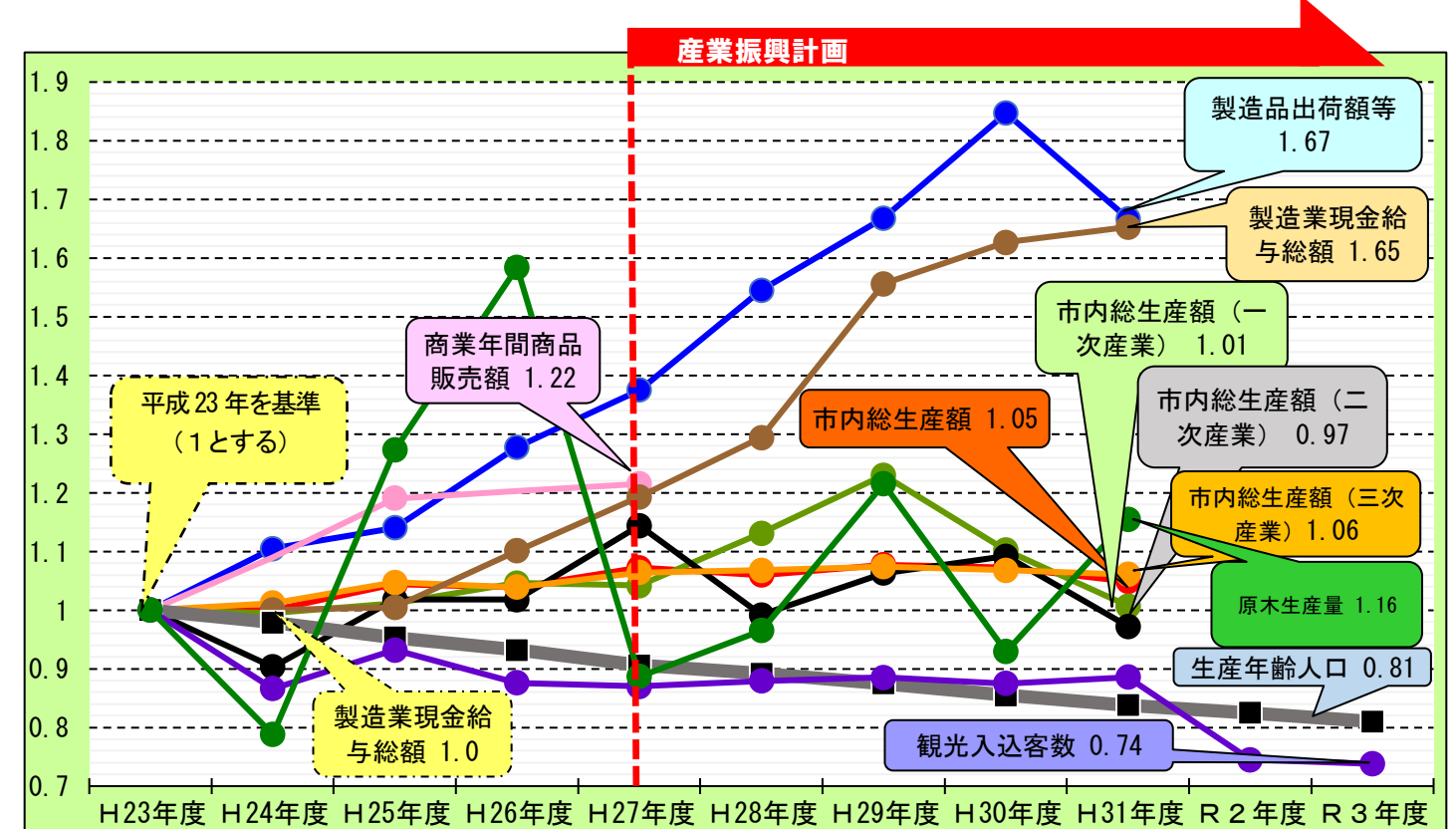


2 市内総生産額



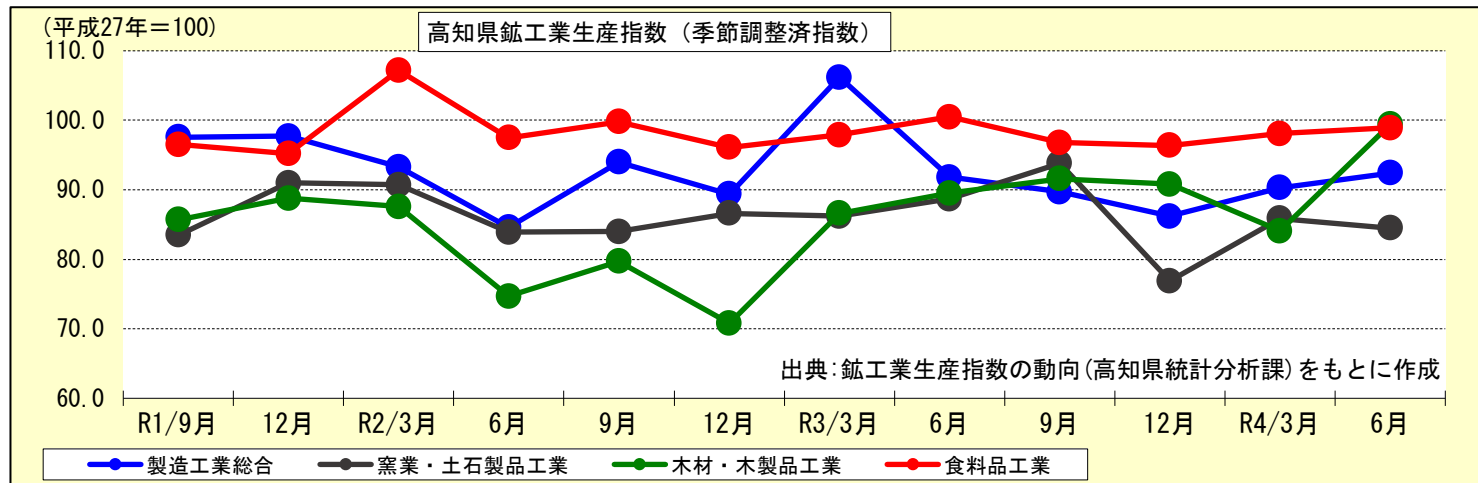
	平成30年度	令和元年度
県内総生産額	2兆4,729億円 (▲0.4%)	2兆4,646億円 (▲0.3%)
総生産額が1,000億円を超える市町村	①高知市 1兆2,257億円 (▲1.2%) (※県内総生産の49.6%) ②南国市 2,018億円 (+2.3%) ③四万十市 1,182億円 (▲0.5%)	①高知市 1兆2,225億円 (▲0.3%) (※県内総生産の49.6%) ②南国市 2,018億円 (+0.0%) ③四万十市 1,157億円 (▲2.1%)

3 四万十市の生産・販売・出荷額の状況

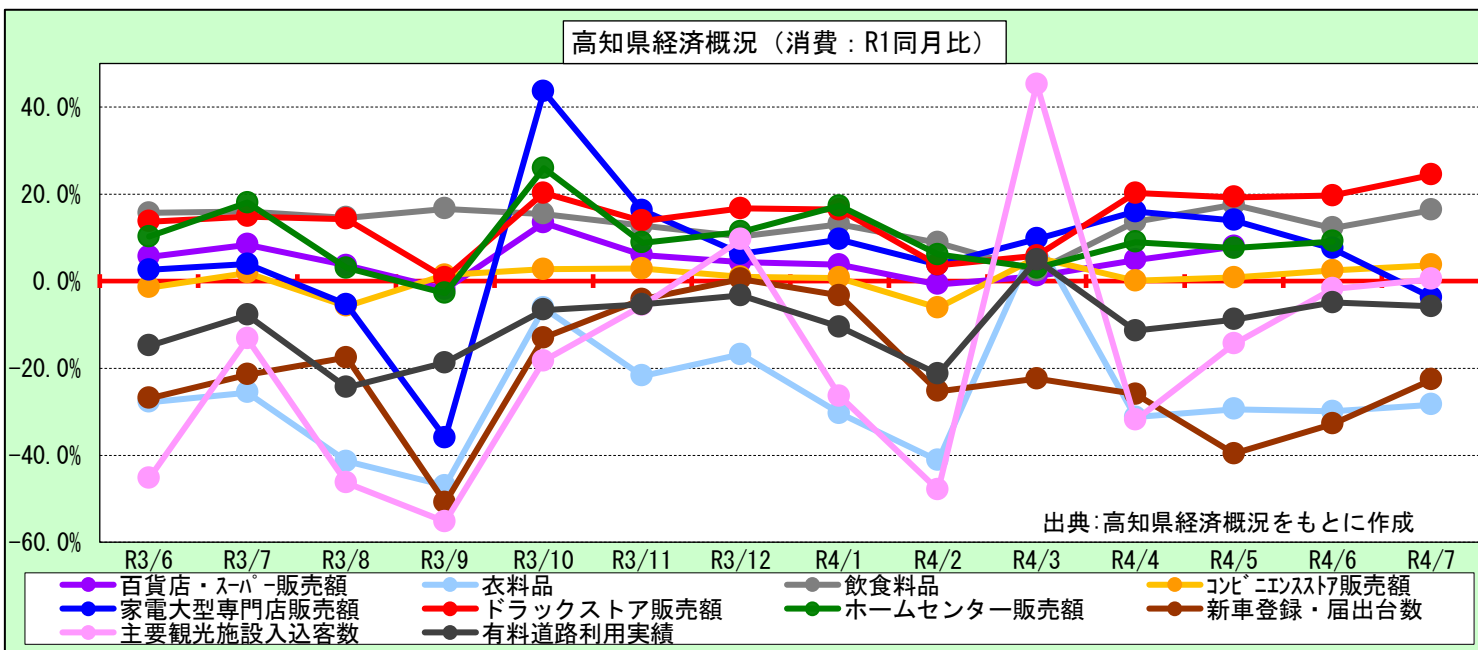


2 四万十市の産業状況等②

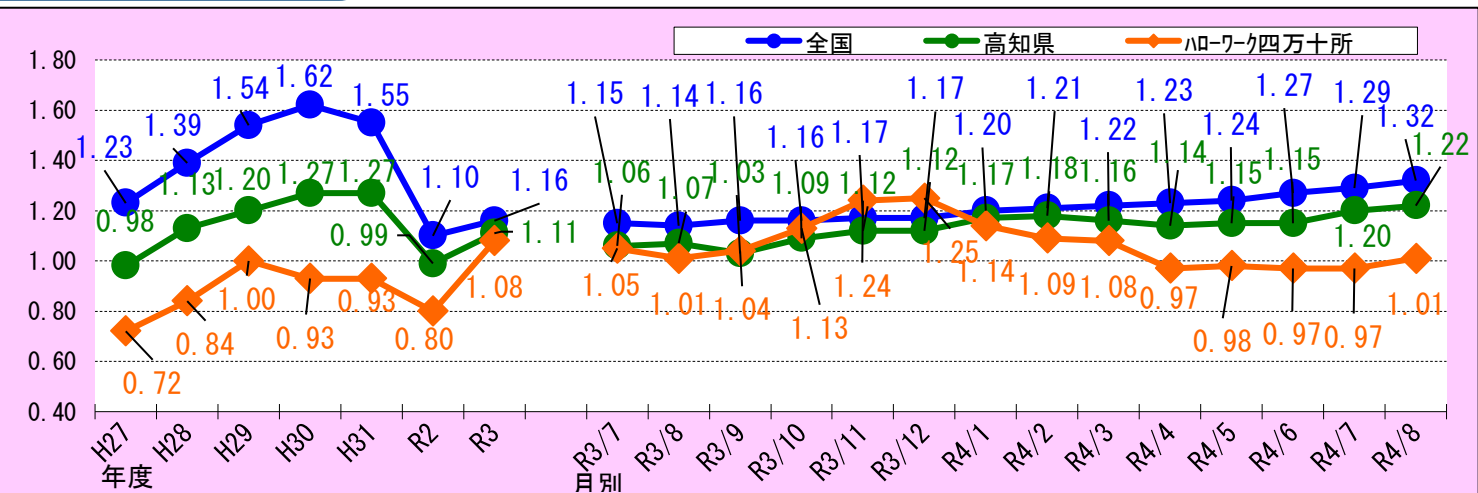
4 鉱工業統計指数



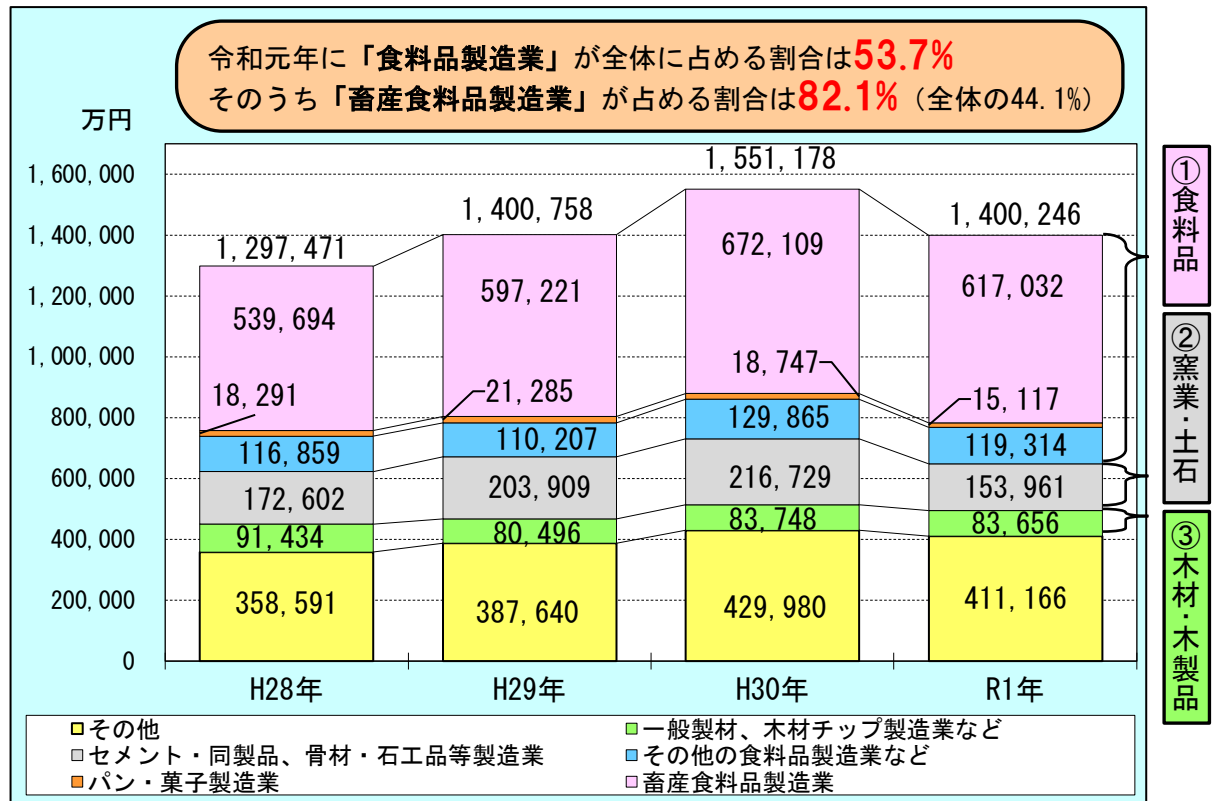
5 県内の経済概況 (消費: 令和元年同月比)



6 有効求人倍率



7 四万十市製造品出荷額等上位3区分 (中分類)



産業分類 (中・小)	H28年	H29年	H30年	R1年	前年比 (R1/H30)
09食料品製造業	674,844 (21)	728,713 (24)	820,721 (22)	751,463 (17)	91.6%
091畜産食料品製造業	539,694 (4)	597,221 (6)	672,109 (6)	617,032 (6)	91.8%
092水産食料品製造業	X (3)	X (3)	83,118 (3)	86,284 (3)	103.8%
093野菜缶詰・果実缶詰・農産 保存食料品製造業	— (—)	X (1)	X (1)	— (—)	—
094調味料製造業	X (2)	14,570 (4)	X (2)	X (2)	X
097パン・菓子製造業	18,291 (6)	21,285 (6)	18,747 (5)	15,117 (3)	80.6%
099その他の食料品製造業	35,523 (6)	26,041 (4)	33,301 (5)	21,214 (3)	63.7%
21窯業・土石製品製造業	172,602 (5)	203,909 (5)	216,729 (5)	153,961 (5)	71.0%
212セメント・同製品製造業	X (3)	X (3)	X (3)	X (3)	X
218骨材・石工品等製造業	X (2)	X (2)	X (2)	X (2)	X
12木材・木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
121製材業、木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
その他	358,591 (18)	387,640 (20)	429,980 (18)	411,166 (19)	95.6%
合計	1,297,471 (49)	1,400,758 (53)	1,551,178 (49)	1,400,246 (46)	90.3%

※カッコ内の数値は事業所数
※記号の「—」は該当数値無し、「X」は秘匿とするもの

2 四万十市の産業状況等③【新型コロナウイルス関連】

四万十市における新型コロナウイルス感染症対策の概要 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連)

令和4年度の主な活用事業〔9/30時点:予定含〕

事業費：569,522千円・・・うち臨時交付金活用額：配分予定 483,052千円

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策・・・事業費 411,926千円

I 新型コロナウイルス感染症の拡大防止・・・事業費 205,651千円

- ・医療提供体制の強化：機器整備、医療機関における検査体制強化など〔19,815〕
- ・ワクチン接種の促進、検査の環境整備等：成人式（R5.1）対象者の検査費用を補助〔500〕
- ・感染防止策の徹底：観光施設の空調、トイレ改修〔15,023〕、学校、スポーツ施設等の施設改修など〔134,205〕
- ・事業者への支援：あんしん会食推進の店認証制度事業〔4,000〕、戦略作物ブランド力強化支援事業〔5,395〕
地域鉄道事業運行支援事業〔19,109〕
- ・生活・暮らしへの支援：修学旅行キャンセル料支援事業〔7,604〕

II 「ウイズコロナ」下での社会経済情勢の再開と次なる危機への備え・・・事業費 181,743千円

- ・まちなかにぎわい創出事業：商店街等が行う賑わい創出の事業への補助〔10,000〕
- ・四万十市クーポン事業：観光施設、飲食店、体験施設等で利用可能なクーポンの配布〔98,800〕
- ・事業拡大支援事業：新たな事業や県外への販路拡大に取り組む事業者を支援〔19,000〕
- ・しまんと市民祭花火大会開催支援〔5,000〕・よさこい四万十開催支援〔1,500〕
- ・ウェディング支援給付金事業：コロナ禍で挙式の延期、中止を余儀なくされたカップルへの支援〔47,000〕
- ・内水面漁業活性化事業：鮎の食べ比べイベント「利き鮎大会」の開催により内水面漁協を活性化〔443〕

III 未来社会を切り開く「新しい資本主義」の起動(成長戦略)・・・事業費 24,532千円

地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」

- ・ICT活用教育推進事業〔5,313〕・個別最適な学び支援事業〔5,196〕・児童生徒等フィルタリング対策支援事業〔1,691〕・出退勤管理システム導入事業〔7,777〕・デジタルバイト対策事業〔2,816〕
- ・子ども・子育て支援交付金（放課後児童クラブICT化推進事業）〔689〕、放課後子ども教室ICT化推進事業〔1,050〕など

原油価格・物価高騰等総合緊急対策・・・事業費 157,596千円

1 原油価格高騰対策(業種別対策)

- ・肥料高騰対策緊急支援事業：コロナ禍での肥料高騰の影響を受けた農業者へ購入費の一部を補助〔30,000〕
- ・地域交通事業者支援給付金：コロナ禍での燃料高騰の影響を受けた事業者の固定費の一部を支援〔5,650〕

2 コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援(生活困窮者支援)

- ・市立保育所給食費免除事業：物価高騰等の影響を受ける子育て世帯への支援として給食費を免除〔15,980〕
- ・民間保育施設給食費支援事業：物価高騰等の影響を受ける子育て世帯への支援として保護者負担分を補助〔6,588〕
- ・市立小中学校児童生徒給食費免除事業：物価高騰等の影響を受ける子育て世帯への支援として給食費を免除〔99,378〕

R3年度 産業振興に関連する主な対策

- 観光施設感染防止対策事業 23,060千円
いやしの里の空調設備及びいやしの里・学遊館・カヌー館のトイレを改修
- ホテル星羅四万十空調設備等整備事業 8,707千円
空調設備及び全熱交換機の改修、空気清浄機の整備
- 道の駅感染防止対策事業 1,045千円
屋外テラスとして利用できる場所の整備（パラソリアの設置）
- 四万十市営業時間短縮要請対応雇用継続応援金 14,028千円
県から時間短縮要請（5/28～6/8）が発出されたことに伴い、市内飲食店等の雇用の維持等を目的として支給。飲食店等、小売業・卸売業：従業員数（週4日以上勤務）×5万円（上限50万円）、運転代行、タクシー業：所有台数×5万円（上限50万円）
- 地域鉄道事業者運行支援事業 19,535千円（四万十市負担額）
土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運行維持のため、施設等の修繕に要する経費を県・沿線市町村が負担割合に応じて補助
- まちなかにぎわい創出事業 6,856千円
商店街等の魅力発掘と集客性向上等に資する活性化事業を補助（補助率9/10）
- 屋外観光施設整備事業 22,985千円
ホテル星羅四万十と道の駅よつて西土佐に飲食可能な屋外スペース（ルーフトップ整備、展望デッキ改修）を整備
- 就農相談体制整備事業 1,375千円
本市農業を紹介するPR動画を制作し、オンラインでの就農相談体制を強化
- 四万十川学遊館空調設備整備事業 4,785千円
空調設備及び全熱交換機の改修
- 四万十市あんしん会食推進の店認証制度事業 20,569千円
「高知家あんしん会食推進の店認証制度（10万円/1店舗）」への上乗せ（定額：1店舗10万円）
- 四万十市新事業開発事業 16,368千円
ウィズ・アフターコロナを見据え新分野展開や業態転換等の事業再構築に要する費用の一部を補助
- 中小企業振興資金（新型コロナウイルス感染症対策特別分） 824千円
信用保証料補給金
- 四万十市新型コロナウイルス対応基金造成事業 48,207千円
新型コロナウイルス感染症により影響を受けた事業者に対する信用保証料及び利子補給を継続的に行うための基金を造成（令和3年度積立：令和4年度から令和7年度取崩分）
- しまんと市民祭秋季花火大会開催支援事業 5,000千円
感染症の影響により市民の気持ちが落ち込む中、賑わいを取り戻し、市経済回復に向けて開催した花火大会への支援
- はた旅クーポン事業Ⅱ（幡多広域連携分） 18,429千円
幡多6カ市町村内の宿泊者に、幡多エリア内の観光施設、体験施設、飲食店などで使える共通割引券（クーポン券）5,000円分（500円×10枚綴り）を配布するキャンペーンを実施

3 令和4年度上半期の各産業分野の動き①（主なもの）

分野 令和4年度上半期

1 産地としての維持・強化

(1) ぶしゅかんの産地づくり【連携AP3・農AP1】 →資料2 P.9

- ぶしゅかん産地化・普及推進事業
- 新規植、防護柵設置の支援
- ぶしゅかん認知度向上支援（四万十ぶしゅかん生産組合）
- メディア露出（テレビ、雑誌等）によるPR・販路拡大

(2) 栗の産地再生【連携AP3・農AP3】 →資料2 P.9

- 栗暮プロジェクト
- 西土佐橋地区実証農園運営、水田からの転換・新改植の推進

(3) 米ナスの振興【農AP4】 →資料2 P.9

- 道の駅でナスフェス開催、「ガブっと米ナス」キャンペーン（西土佐地域産業振興推進協議会）

(4) 有望品目の産地強化【農AP5】 →資料2 P.10

- わさび実証実験2作目管理、園芸ハウス整備事業
- 野菜価格安定事業など

(5) 環境保全型農業の推進【農AP7】 →資料2 P.10

- 環境保全型農業直接支払交付金事業（36ha）
- 環境保全型農業推進事業（66a）

(6) 農作業支援体制の充実【農業AP12】 →資料2 P.11

- 無料職業紹介所（中村12件、西土佐13件）、周知活動の強化

(7) 地域内農業者の共同生産体制の構築【農AP13】 →資料2 P.11

- 米ナス共同選果の実証、実施に向けた検討（JA高知県）

2 地元農畜産物の利用・販売促進

(1) ブランド化の推進【連携AP3・農AP16】 →資料2 P.2

- しまんと100年プロジェクト
- しまんと農法米普及促進：首都圏量販店及び高知市内のフェア出展、具同小学校でのしまんと農法米の授業等

3 担い手の確保・育成

(1) 新規就農者の確保育成、認定農業者の育成【農AP20～24】 →資料2 P.12

- 新規就農者、認定農業者への支援やフォローアップを継続
- 新規就農研修支援（中村4人、西土佐1人）
- 認定農業者：127名（R4.3.31）

(2) 集落営農の推進【農AP9、10】 →資料2 P.10、11

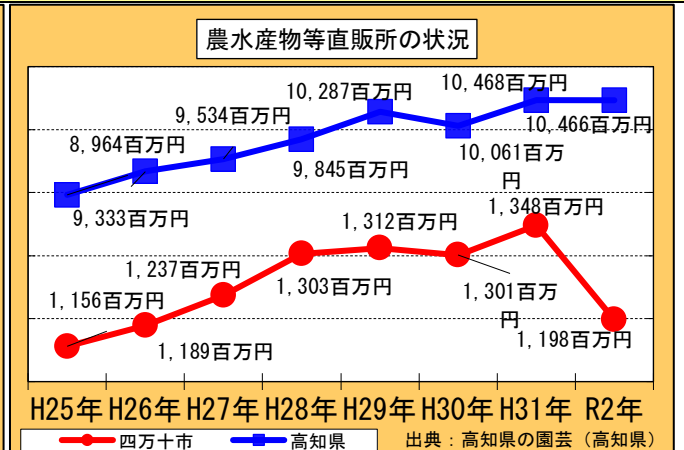
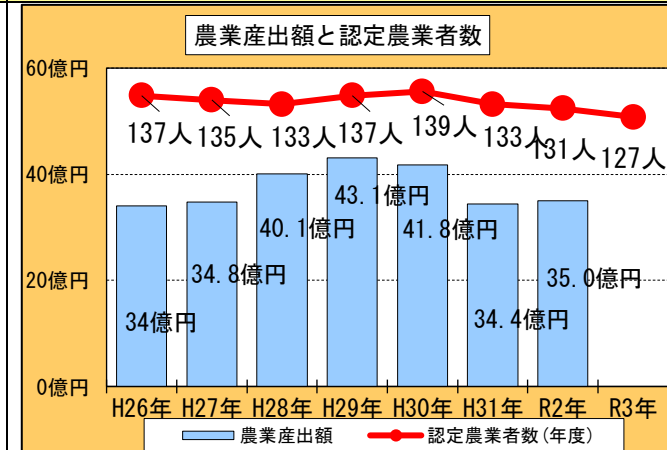
- 組織化・法人化への誘導、既存組織のフォローアップ
- 広域化への協議
- 集落営農組織31 法人組織8
- 地域営農支援事業（上半期分補助予定額）
- ソフト事業1組織、60千円
- ハード事業4組織、10,101千円

4 農地の利用促進 →資料2 P.13

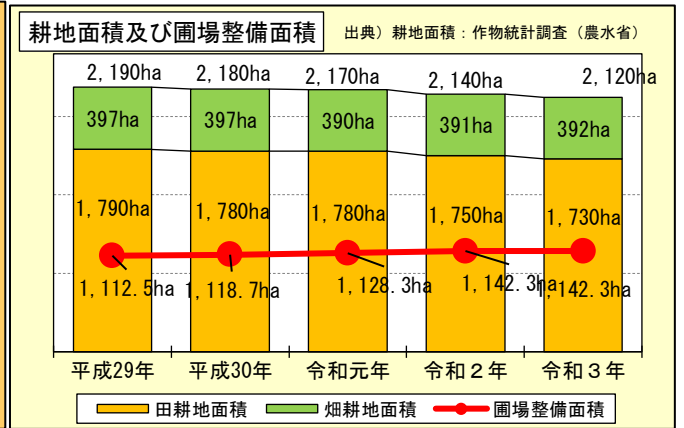
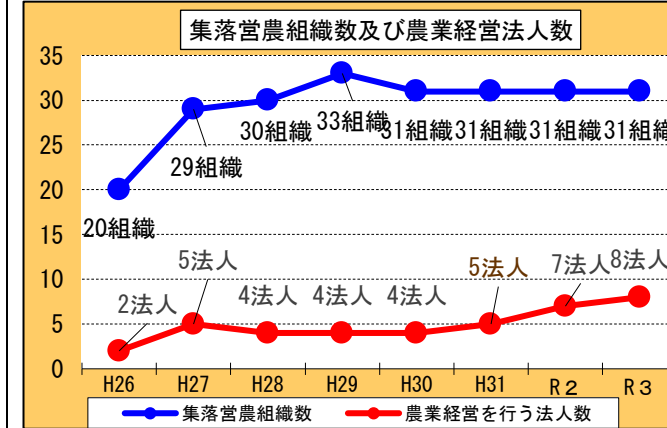
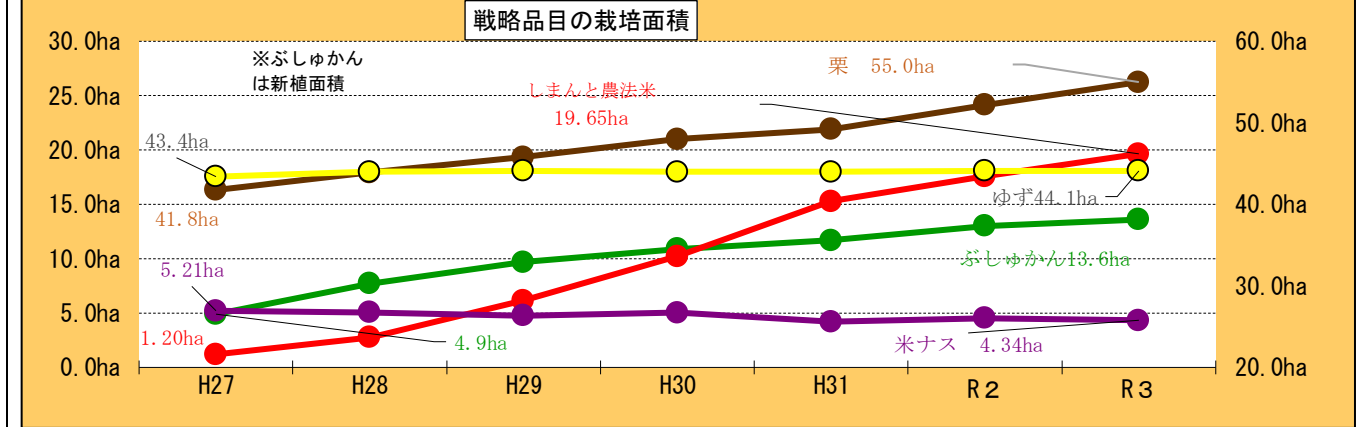
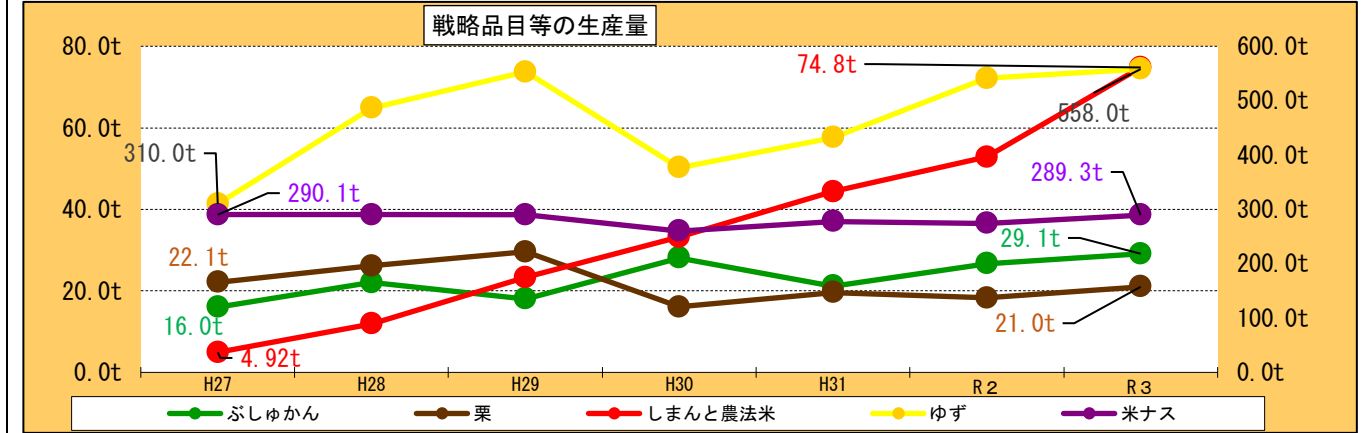
- 圃場整備、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、水田を栗園に転換



四万十市農業紹介 PR 動画



農業産出額R6目標:45億円以上、認定農業者数R6目標:150人以上



3 令和4年度上半期の各産業分野の動き②（主なもの）

分野 令和4年度上半期

林業分野

1 四万十の山づくり

(1) 長期視点に立った産地づくり【林AP1～3】 →資料2 P.15

- ・提案型集約化施業の推進を継続
- ・森林経営管理制度の運営（森林環境譲与税）
森林所有者意向調査準備業務384筆、意向調査業務68人、口鴨川作業道開設1,500m

(2) 林業事業者及び林業技術者の育成支援【林AP9】 →資料2 P.17

- ・緑の雇用事業活用（R4新規5人）
- ・林業担い手育成支援事業（森林環境譲与税）
緑の雇用で新規就業者を雇用する事業体を支援：11,520千円（60千円×12月×16人）

(3) 兼業型林業事業者の育成支援林【林AP10】 →資料2 P.17

- ・原木増産推進事業（バックハウ等レンタル補助3人）

(4) 自伐林家等の育成【林AP11】

2 供給体制の強化

(1) 木材・木工製品の生産の拡大・商品力強化【連携AP4・林AP12】 →資料2 P.3

- ・四万十ヒノキブランド化の推進（原木の育成・施業方法の検討、パンフレット作成・配布等）

3 市産材の利用促進と販売力の強化

(1) 木造住宅建築促進【連携AP1・林AP14】 →資料2 P.1

- ・市産材利用促進事業の継続（申請見込30件）

(2) 市産材の利用促進及び情報発信の強化【連携AP1 林AP15】 →資料2 P.1

- ・文化複合施設整備の市産材利用予定量：1484.59m³（丸太材積）

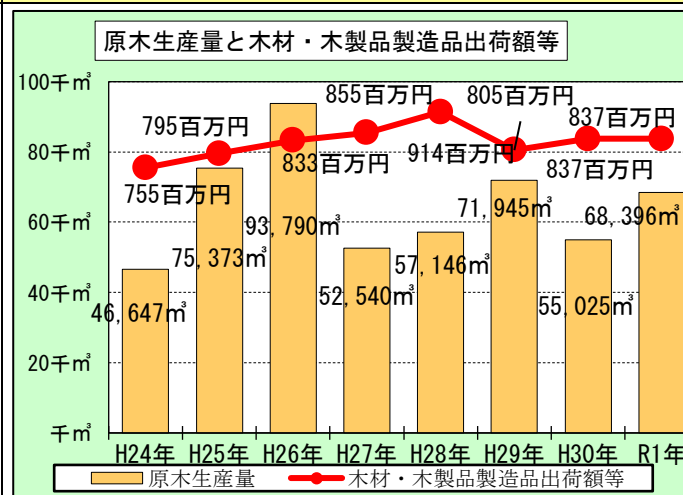
(3) 四万十ヒノキブランドの確立【連携AP4・林AP18】 →資料2 P.3

- ・四万十ヒノキの家見学、宿泊体験
見学52名、宿泊延べ26組・132名（7月末現在）

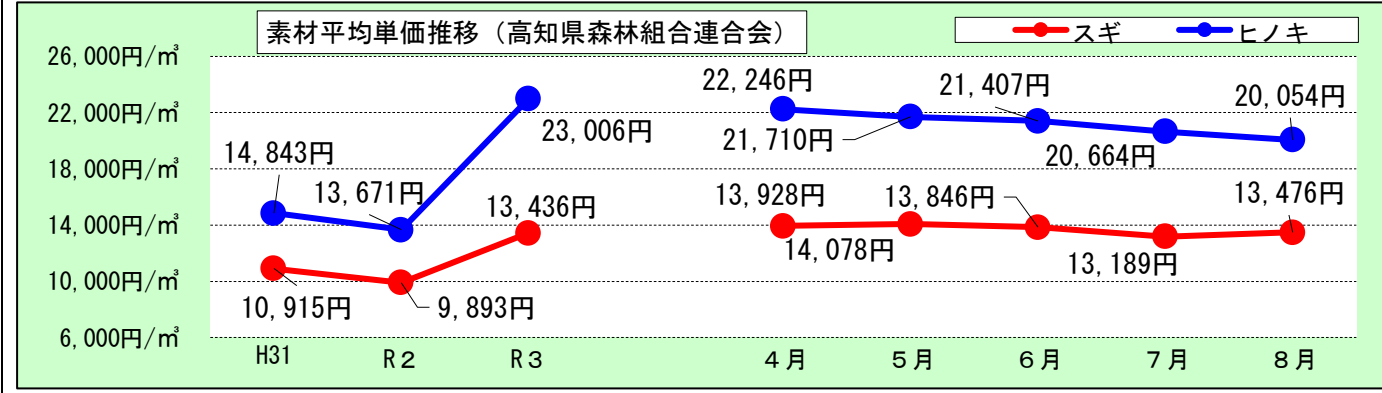
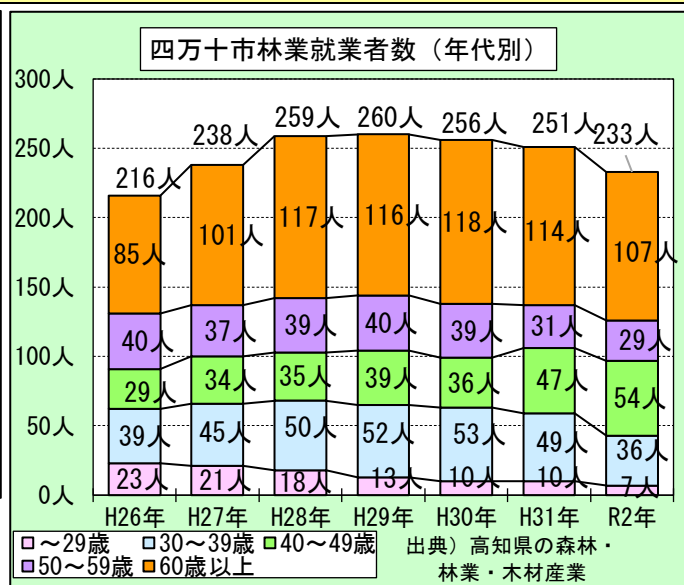
4 健全な森づくり

(1) 鳥獣被害対策【林AP8・AP21】 →資料2 P.16

- ・有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援、新規狩猟者の受講料支援の継続



原木生産量 R6 目標：75,000 m³以上
木材・木製品製造品出荷額等 R6 目標：9億円以上



水産分野

1 水産資源の回復・生産量UP

(1) 天然水産資源の回復・増殖【水AP1～2】 →資料2 P.19

- ・スジアオノリ漁場整備（下流漁協）
- ・四万十川自然再生事業（国土交通省、四万十川自然再生協議会）
アユの産卵場整備やモニタリング調査などを継続
- ・河川流下能力検討業務（四万十川漁業振興協議会）
河床調査、河川環境改善に向けた調査分析等

(2) 栽培漁業等の推進【水AP3～5】 →資料2 P.19

- ・種苗放流の継続（西部、中央、下流漁協）
アユ、うなぎ、アメゴ
- ・ヒトエグサ漁場環境調査（下流漁協）

(3) 地域に根差した資源管理の仕組みづくり →資料2 P.20

- ・テナガエビ類の禁漁（9月～3月）継続、禁漁期間の周知

2 水産物の加工・販売促進

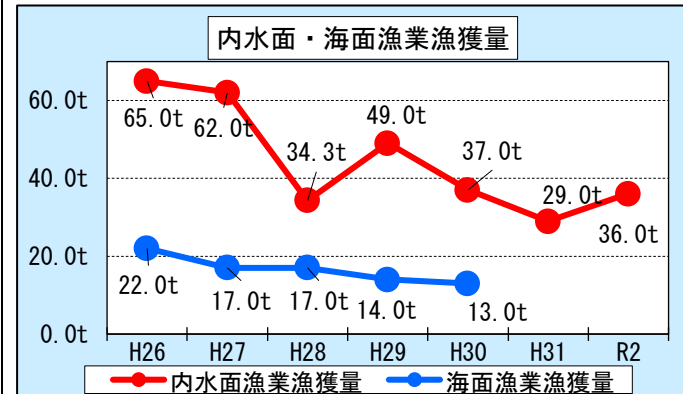
(1) 販売力の強化と販路拡大【連携AP8・水AP11～12】 →資料2 P.6

- ・活アユの豊洲市場出荷、利き鮎大会開催などブランド化の推進
- ・川エビパエリア、天然鮎のコンフィ缶販売開始（鮎市場）

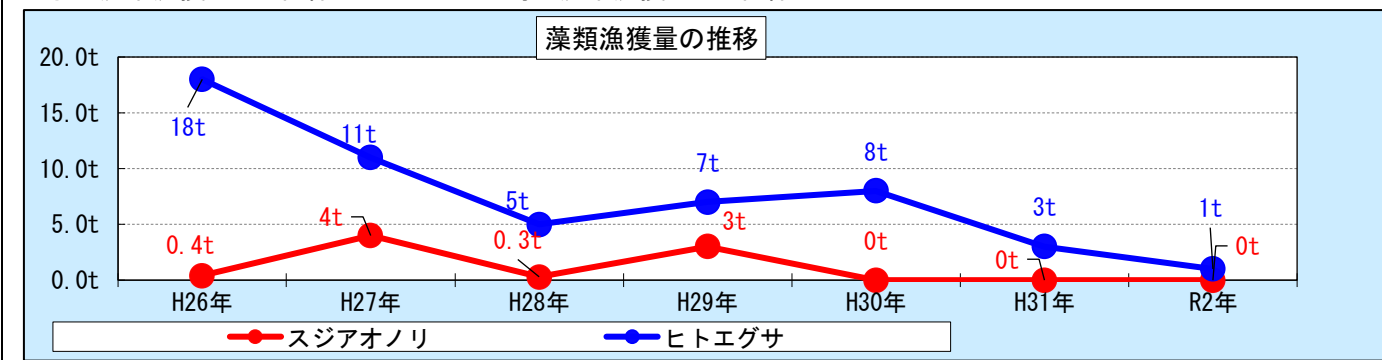
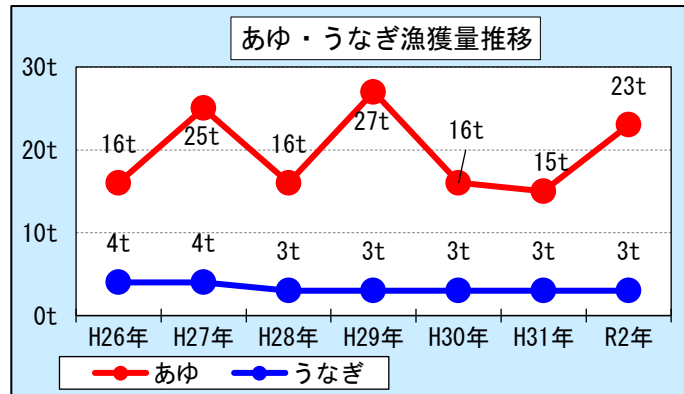
3 水産資源を活用した交流の拡大

(1) 体験教室等の開催【水AP16】 →資料2 P.20

- ・川漁体験学習、水辺の楽校、親子川漁体験等の実施



内水面漁業漁獲量 R6 目標：50 t 以上 海面漁業漁獲量 R6 目標：15 t 以上



3 令和4年度上半期の各産業分野の動き③（主なもの）

分野 令和4年度上半期

商工業分野

1 顧客に選ばれる商工業の振興

(1) 商品の販路開拓・販売促進【連携 AP 8・商 AP 4】→資料2 P.5

- ・県内外における地産外商活動の推進
- ・特産品等販売促進事業（商談会出展等の支援）
- ・事業拡大事業費補助金（新型コロナ対策事業）
- 交付決定：新事業開発5件5,488千円、商談会出展2件400千円

2 中心市街地・商店街等の活性化

(1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり【連携 AP 2・商 AP 10】

- ・中心市街地にぎわい拠点施設を核とした商店街等活性化事業→資料2 P.1
- 拠点施設を核とした商店街活性化の協議（月1回）、商店街広報誌・店舗紹介サービス、活性化イベントの実施など
- ・文化複合施設整備事業（R6.4開館予定）→資料2 P.22
- 建設工事（R3.6.30～R5.6.30）、開館に向けての運営準備業務など

(2) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり【商 AP 12】→資料2 P.23

- ・チャレンジショップ事業（天神橋商店街振興組合）
- ・チャレンジャー2名営業中（7月1名、10月1名卒業、下半期は2名出店予定）
- ・まちなかにぎわい創出事業（新型コロナ対策事業）
- 交付決定：3件、3,333千円（補助率9/10以内、補助限度額100万円×連携事業の数（最大700万円））
- ・四万十市あんしん会食の店応援金事業（新型コロナ対策事業）
- 対象者：高知家あんしん会食推進の店認証制度の認証を受けた市内事業者
- 交付決定：30件、支給額3,100千円

3 中山間地域の商業機能の確保

(1) 小さな（田舎）ビジネスの推進【連携 AP 6・商 AP 16～18】→資料2 P.3

- ・西土佐地域産業振興推進協議会を中心とした米ナスの振興（メニュー開発・普及、キャンペーン）など

4 企業誘致

(1) 情報通信関連産業の誘致促進【商 AP 19～21】→資料2 P.24

- ・県と連携した企業誘致活動を継続

●中心商店街活性化協議会の検証指標（一部抜粋）

	R6目標値 (H30基準値)	R1	R2	R3
はれのば入込客数	120,000人/年 (-)	-	105,611人	90,324人
中心商店街売上	9億2500万円 (8億3100万円)	6億9300万円	7億2500万円	7億400万円
中心商店街新規出店数	累計16店舗 (2店舗)	6店舗	5店舗	1店舗

※中心商店街売上値は、天神橋商店街の半数以上の店舗の総売上
※累計値はR1～R6まで（10⇒16店舗へ上方修正（R4.6.29））

イオン高知催事出展



おまち中村超得 300円超 楽しみ抽選会



卸売・小売業年間商品販売額と製造品出荷額等



小売・卸売業年間商品販売額 R6 目標: 750 億円以上
製造品出荷額等 R6 目標: 160 億円以上

商店街歩行者通行量（平日）



商談件数・成約率推移（市関係事業分）



道の駅よって西土佐売上額及びレジ通過者数



道の駅よって西土佐レジ通過者数



3 令和4年度上半期の各産業分野の動き④（主なもの）

分野 令和4年度上半期

- 1 滞在型の観光地づくり
- (1) 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり【連携AP7・観AP1～4】→資料2 P.4、5
- 観光動向調査を継続（市観光協会窓口、佐田沈下橋周辺など）
 - リバーベキュープロジェクト（農林水産物の活用、商品開発、観光誘客など）
モニターツアー・地元小学校 BBQ 体験会・バーベキュー検定等の実施、道の駅よって西土佐・星羅四万十のBBQ サイトオープン（日本初 スマートバーベキューパークに認定）
 - 四万十市クーポン事業（第2弾）（新型コロナ対策事業）
6月～（R5.1月末）3,000円×市内3万泊（登録数：宿泊施設40、店舗203）
 - スポーツリズムの推進（ソフトボール男子アジアカップ、合宿誘致等）
 - 郷土博物館を核とした回遊性のあるまちづくり事業
歴史資源を切り口とした周遊コースの造成
- (2) 広域連携による周遊観光の推進【観AP5】→資料2 P.4
- 幡多広域観光協議会による商談やモニターツアーの実施、教育旅行受入



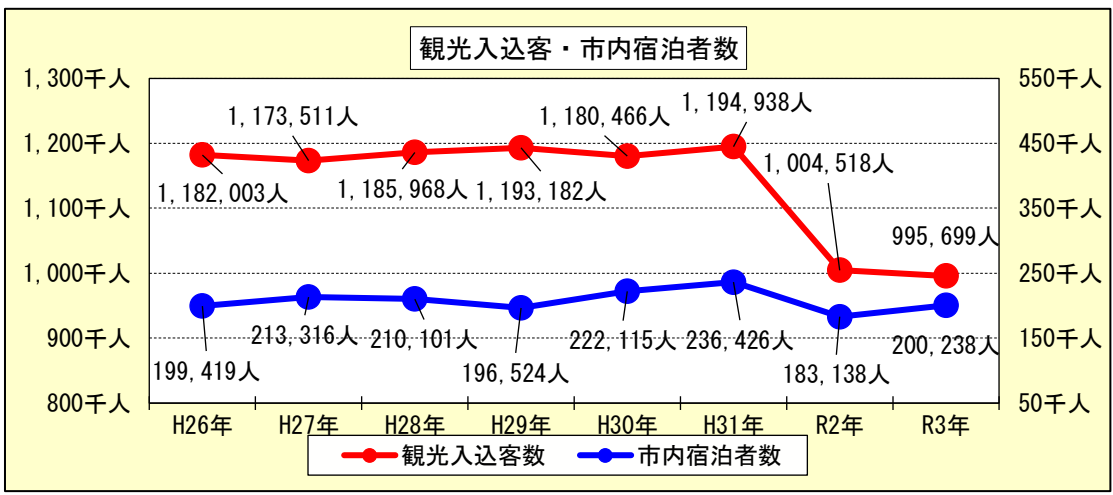
- 2 観光商品の外商の推進
- (1) 観光商品のセールス及び情報発信の強化【連携AP9・観AP6～7】→資料2 P.6、7
- 商談会、セールス活動、モニターツアーの実施、教育旅行受入など（市観光協会、幡多広域観光協議会など）
 - デジタルパンフレットの作成、SNS（インスタ、フェイスブック、YouTube）での情報発信
 - 県観光キャンペーン「リョーマの休日」と連携したPR活動等
 - 土佐井王国：土佐井マップ、写真投稿キャンペーンによる周遊促進



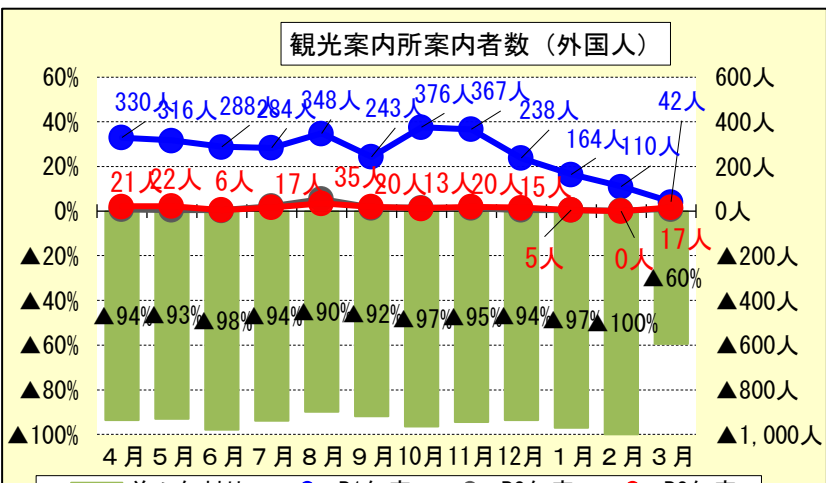
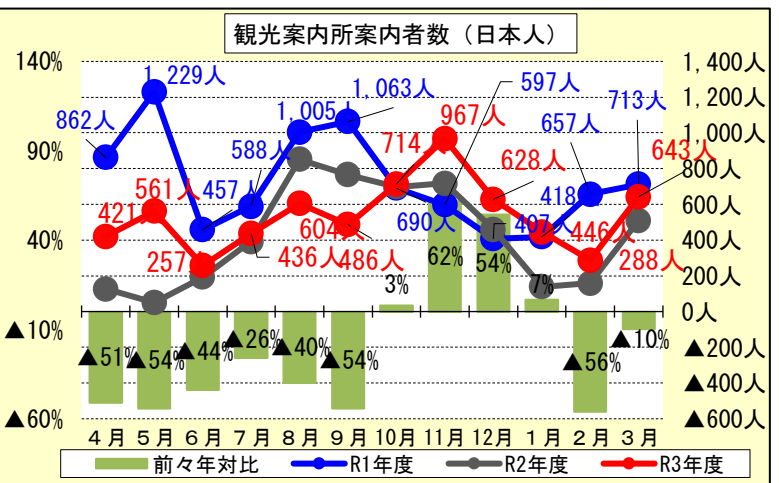
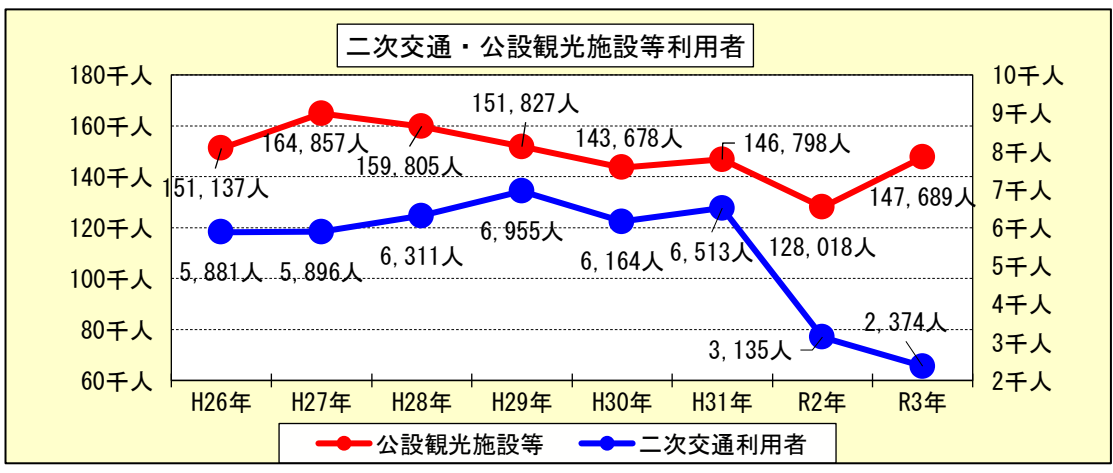
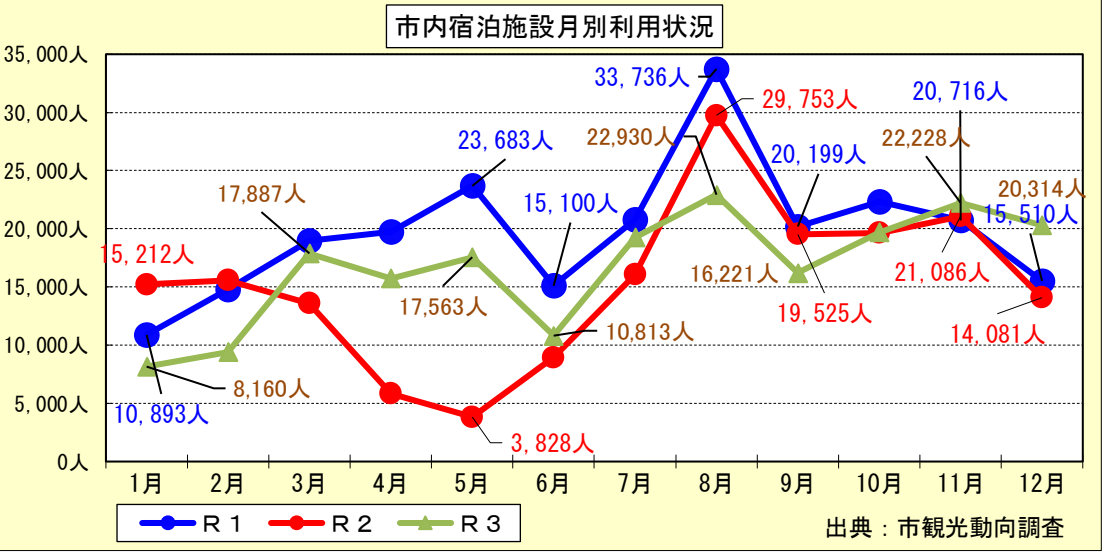
- 3 おもてなしの向上
- (1) おもてなし環境の整備【観AP8～9】→資料2 P.25
- いやしの里、ふるさと観光交流センター、かわらっこの施設改修
 - 2次交通（川バス、市内循環バス、しまんと・あしずり号）の継続運行
- 4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成
- (1) 観光人材の育成、確保【観AP15～16】→資料2 P.26
- 観光ガイドミーティング（2回）

高知県内の観光入込客数

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
入込客数	4,406千人	4,412千人	4,388千人	2,667千人	2,672千人
前年比	+3.8%	+0.1%	▲0.5%	▲39.2%	▲0.2%



観光入込客数 R6 目標：130 万人以上 市内宿泊者数 R6 目標：25 万人以上



GW・お盆・年末シーズンの観光客数(人) (市観光協会)

	市観光協会窓口			佐田沈下橋臨時案内所	
	4/28～5/6	8/11～8/16	12/29～1/6	4/28～5/6	8/11～8/16
R1年度	1,116	279	288	14,221	3,751
R2年度	—	273	67	—	4,067
R3年度	318	100	169	3,554	1,583
R4年度(R1比)	646 (▲42.1%)	445 (+59.5%)	—	5,865 (▲58.8%)	4,190 (+11.7%)

※R2年度のGWは新型コロナウイルス拡大防止のため観光案内所を閉所 ※R3年度の佐田沈下橋臨時案内所は4/29～5/5の7日間のみ開所